

新聞よりもネットの記事などのほうが便利だと考
えていたけれども、この講演会を受けて新聞のほ
うが良いところが多いということに気づくことが
できました。新聞は記事の信憑性が高く、手軽に
入手できるのに正しい情報が手に入るというのは
新聞だけの素晴らしい特徴だということが分かり
ました。新聞には文字がたくさんかかれている
な、とは思っていたけれど想像より遙かに多い20
万文字が書かれていると聞いた時はとても衝撃で
した。新聞は自分が知りたい事以外もたくさん
の記事が載っているので他のことにも興味が湧いて
視野が広まってとてもいいということが分かりま
した。

風間記者講習振り返り

「記者」という仕事は、世の中のたくさんの出来事を知り、それを読者に発信できるとてもやりがいのある仕事だとわかった。それと同時に記者は常に正確性が求められる。事件が起きたときも、いつどこで、誰がどうしたと正確に伝えなければならぬ。例えば、名前など間違えて発信してしまうとそのまま情報が伝わり、全く関係ない人が巻き込まれる可能性もある。だから常に正しい情報かどうかを考え確認することが大切だ。とても責任のある仕事だと思う。

新聞記者の仕事は大変なこともあるけど選手へのインタビューなど、たくさんやりがいがあることがわきました。ヨーロッパなどで取材をするときは時差の関係で徹夜が30回くらいあったことにとても驚きました。また、いつも新聞はテレビ欄くらいしか見ないけれど、読む力や書く力がつくということを知り、新聞を読んでみようかなと思いました。新聞は見出しとリードに伝えたい内容が書かれているけれど、小説やコラムは最後に書かれているため、小説などとは違うことが分かり、そのような違いも面白かったです。新聞記者は素晴らしい仕事だということが改めてしれて、少し新聞記者について興味がわきました。

ふり帰り

私は、今まで新聞ノートを書く際に触れていた「新聞」がどのようにしてできているか、新聞記者の方々の忙しさや苦労を知りました。

そして、風間記者が教えてくれた「どのように取材をするか」「新聞はどのような作りになっているか」「どれほど新聞記者は大変なことが多いのか」を聞き、今までの新聞に対する味方や考え方があわってくるような思いがしました。これから新聞ノートを書いていく際に、この新聞一つを作るのにどのような苦労があったか、を一度は考えて生活してみたいです。

新聞の読み方のコツや見出し、リード（前文）に書いてあることやそれが大切な理由を知ることができた。これまで新聞を読んでこなかった私にとって知らないことばかりだったので、とても勉強になった。そして新聞の見出しを読み始めてみようかと思った。

新聞記者には不規則な仕事時間や海外への出張の時の時差ボケなど大変なこともあるが、有名人に会えたり、出張先で美味しいご飯が食べれたりと、嬉しい、楽しいことも多くあることも知ることができた。他にも自分しか知らない内容・ニュースがあることが嬉しかったり、有名人に会うことで「自分も頑張ろう」と思える場面があることを知った。

今回の新聞記者講演会でこれまで知らなかっただ新聞記者の仕事内容や大変だったこと・嬉しかったことを知れたことで、新聞記者の走り回って記事のネタを探すイメージががらッと変わった。（366）

新聞記者という仕事は知っているけれど、仕事内容としては取材をして新聞を作っているという大雑把な事しか認識していませんでした。

しかし、今日の風間記者の話を聞いて海外に行って時差ボケがありながらも、徹夜をしたり有名人への取材で失敗しないように緊張したりしたという話を聞いて、新聞記者も私達と同じなんだなと思いました。

私も校外学習で工場や施設の人へのインタビューをした経験があります。その時はとても緊張していました。風間記者がやってきたこととは全然すごさが違うけれど意外と感じていることは同じでした。

苦労や努力が詰まった新聞をこれまでなんでこんなに読まないといけないんだろうとばかり思っていたけれど、これからはしっかりとリードや見出しを中心的に読んでいきたいです。